

かめむ〜速報
【む〜速】



〜東大津高校新聞部 発行〜

世界に羽ばたく東大津高生



▲メダルをかける永野さん

強いぞ永野さん

4月18日から21日にかけて韓国でインラインスケート大会ナムウォンコリアンオープンが開催された。その大会の部門の一つである音楽に乗り、技を繰り広げるクラシック部門に参加した東大津3年生の永野敬大さんが見事優勝をはたし、賞金40万ウォンを手に入れた。

インラインスケートとは、タイヤが一列に並んでいるローリースケートのような靴のことであり、スピードスラローム、バトスラロームなど様々な種目がある。永野さんは全国大会で優勝した時の感想を聞かれると、「はじめは実感がなかったが、結果を見ると実感がわいてい

会二度優勝、世界ランキング9位、世界選手権では4位、4年連続日本代表として出場など数々の優秀な成績を収めている。永野さんは韓国の大会で優勝した時の感想を聞かれると、「はじめは実感がなかったが、結果を見ると実感がわいてい

きて、うれしくなりました。とても思い出深い」と語った。

永野さんがインラインスケートを始めたきっかけはスキートのオフトレイニングとして始めたがそこからハマって行き今のようになったと語る。普段は平日は練習せず土日に4、9時間ほどしており、忙しい時には12時間ほど練習している。世界大会があるときは一週間ほど日本から離れるため、勉強との両立が大変だと語っていた。

メダルを目指して

今後の目標について聞かれると永野さんは「来年から自分は18歳になったためジュニアからシニアへと変わる。そのため大学1年までしばらくの間海外で特訓に行き、そこで強くなり、ジュニアでそうだったようにシニア

アでも日本大会を優勝し日本代表に入り、世界で代表として戦い、いつか世界選手権でメダルを取りたい」と意気込んでいる。これからの永野さんの動向が気になるところだ。



▲韓国での大会で優勝した際の永野敬大さん(中央)